

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	作品研究Ⅱ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース、俳優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	40時限
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	作品映像、解説資料						
担当教員情報							
担当教員	吉村智樹 村田鉄之 宮下明日香				実務経験の有無・職種	無	
学習目的							
演劇、映画、アニメ作品をカテゴリー別に、引照しながら多数の作品に触れることで作品を観る目を養い自身が演じる場合のイメージを持てるようになる。また、将来的に活動するフィールドのイメージをより明確化することも目的とする。							
到達目標							
・ 作品に対して自身の意見を持てるようになる。 ・ 自分ならどう演じるか想像できる力をつける。 ・ 自身が演じるのに適性が高いキャラクターを見極める力を付ける。 ・ 構成、展開、演出、脚色、翻案等、作り手の意図を理解、推測する力を付ける。 ※上要素を総合し作品（台本）からのメッセージを受け演技者の役割を認識し意思を持った表現を意識できるようになる							
教育方法等							
授業概要	映画、舞台、TVドラマ等の作品を上映、作品を理解する上でのポイントを解説し毎回取り扱った作品についてのレポートを提出する。上映作品はカテゴリーにより1～4作品程度を上映し、テーマが近いものや同一人物が違う作品に出演するなど作品を比較し演出方法、演技手法、監督や演出家、表現形態等、様々な視点から作品を読みとり解説する。また、学外で作品を観る機会を作り実際作品に関わった人物の講演を実施する。						
	監督、演出家、脚本家、俳優、声優など学外の方の講義は先方のスケジュールに合わせることもある為、予定されている授業が入れ替わることがある。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	レポート	50%	理解度で評価する				
	小テスト	20%	授業の理解度を確認する				
	平常点	30%	積極的な授業参加、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	邦画①			ビジネスモデル一つの作品が出来るまで外郭と製作の理解			
2回	邦画②			同一監督の映画と舞台の形式で表現を比較し映画と舞台の特徴を知る			
3回	邦画③			同一作品異形式の検証。出演者の関係。出演者起用についての理解			
4回	邦画④			同一俳優他作品の検証。違う作品で共通点、相違点を見出す			
5回	アニメ作品①			作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ			
6回	アニメ作品②			作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ			
7回	アニメ作品③			作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ			
8回	アニメ作品④			作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ			
9回	洋画①			無声映画、喜劇の鑑賞。音のない映画の表現手法を学ぶ			
10回	洋画②			1950年代～2010年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る			
11回	洋画③			1950年代～2011年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る			
12回	洋画④			1950年代～2012年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る			
13回	戦争映画①			あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る			
14回	戦争映画②			あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る			
15回	戦争映画②			あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る			